

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

部局名	企画政策部 市政広報官【広報室】	部局長名	知敷 憲一郎
------------	------------------	-------------	--------

部局内の 経営資源	当初予算	0.5億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		6人	人	6人

部局の使命 (組織の存在価値)	企画政策部広報室の使命は、 広聴及び広報活動の充実により、 開かれた市政を実現することである。	組織目標像	【施策の目標像】3年後 (1) 広聴広報体制が確立している。 (2) 広報活動の充実により開かれた市政が実現する。 【組織の目標像】3年後 (1) 情報を共有できる組織 (2) 市民意見に迅速な対応ができる組織 (3) 研修等で常に資質向上を目指す組織
--------------------	--	-------	--

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標 (めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況 (年度中間)	年度末の達成状況
まちづくり懇話会の開催	(1)10月までに6地域で開催	川内中央,平成・高城西,川内北,高江,川内南中校区及び里・上甕地域で開催	・ 川内南中校区,里・上甕地域を除いて開催済。	・ 予定した6会場で開催できた。
市政モニター制度の充実	(1)アンケート調査を4回実施	市政に反映できる市民生活に密着したアンケート調査の実施	・ 7月(定額給付金に関する調査),9月(インターネット環境と市ホームページについて)の2回実施。	・ 12月(市民満足度調査),1月(九州新幹線鹿児島ルート)を実施し,予定した4回を実施できた。
広報薩摩川内の充実	(1)市民参加型広報薩摩川内の構築	広報委員会(市民6名)の広報紙への反映 仮称「市民の声」欄の構築 特集4回への挑戦	・ 7月に第1回広報委員会を開催し,意見(表紙写真の解説)を広報紙に反映。 ・ 仮称(市民の声)は,準備中。 ・ 特集は,7月に(満喫しよう!!夏の薩摩川内)を掲載。	・ 広報委員会を第2回(11月),第3回(3月)を開催し,貴重な意見をいただいた。 ・ 2月10日号から「読者のひろば」欄を新設した。 ・ 特集記事は,「市制施行5周年記念」(11月),「新幹線」(3月)に取り組んだ。

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

<p>市制施行 5 周年記念 「市勢要覧」</p>	<p>(1)「みんなのふるさと躍動薩摩川内」を意識した市勢要覧の作成</p>	<p>将来都市像「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」が見える構成 広域合併(1市4町4村)を意識した構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧市町村の人・自然・伝統芸能等を織り込み、本編 3,000部ダイジェスト版 2,000部を作成。 ・ ダイジェスト版は、5周年記念式典出席者に配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「市勢要覧」(本編)を国・県等関係機関に送付し、「みんなのふるさと躍動薩摩川内」のシティセールスに取り組んだ。
<p>薩摩川内市の P R</p>	<p>(1)豊富な魅力を情報発信し、定住及び交流人口増への支援</p>	<p>郷土会等への広報紙等情報提供 テレビ媒体活用によるイベント等開催情報発信 ホームページでの豊富でタイムリーな情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京薩摩川内会をはじめ郷土会等で広報紙を配布。 ・ 2イベントのテレビ広報を4社から55本情報発信。 ・ ホームページでタイムリーな情報を発信中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8イベントのテレビ広報を4社から258本の情報発信し、観客動員に努めた。 ・ ホームページ未更新処理の見直しをし、最新の情報発信に努めた。
<p>年度中間総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり懇話会を4会場で開催したが、テーマに対する市民意見広聴及び意見交換の司会進行を市長がされたことで、市民の反応は良かったようである。 ・ 合併以降初めての「市勢要覧(発動)」を作成したが、「みんなのふるさと躍動薩摩川内」と共に広域合併(1市4町4村)を意識した市勢要覧ができた。 ・ 広報委員会での提言を反映することができた。(表紙解説写真の改善) 			
<p>年度末総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり懇話会のテーマ設定については、地区の身近な課題及び活性化策等への誘導改善が必要である。 ・ 市民目線の広報紙を目指し、2月10日号から「読者のひろば」欄に取り組むことができた。 ・ 第2回広報担当者会において、毎日新聞社薩摩川内通信部長(馬場茂氏)を講師に研修会(記者の目を通した報道のあり方)を実施し、資質向上を図った。 			